

令和元年度

決算報告書

第1期

自 平成31年4月 1日

至 令和 2年3月31日

公立大学法人大阪

令和元年度決算報告書

(単位:百万円)

区分	予算	決算	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	26,191	26,029	△ 162	(注1)
施設整備費補助金	4,189	3,845	△ 344	(注2)
自己収入	45,057	48,345	3,288	
授業料及び入学検定料収入	10,288	10,247	△ 41	
附属病院収入	33,201	36,319	3,118	(注3)
雑収入	1,568	1,779	211	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,992	4,888	896	(注5)
補助金等収入	441	602	161	(注6)
長期借入金収入	1,170	1,170	-	
目的積立金取崩	-	1,543	1,543	(注7)
計	81,041	86,421	5,382	
支出				
業務費	70,315	72,220	1,905	
教育研究経費	34,954	34,669	△ 285	(注8)
診療経費	35,361	37,551	2,190	(注9)
施設・設備整備費	5,587	5,698	111	(注2, 7)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,858	4,384	526	(注5)
補助金等	441	587	146	(注6)
長期借入金償還金	839	823	△ 16	
計	81,041	83,713	2,672	

※ 本表の数値は単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。

○予算と決算との差異について

- (注1) 目的積立金承認に伴い、退職手当精算額について、運営費交付金の交付がされないため予算額に比して決算額が減少しております。
- (注2) 埋文調査実地のため部室等新設工事のスケジュール遅延により、予算額に比して決算額が減少しております。
- (注3) 平均在院日数の短縮、新入院患者数の増、並びに入院・外来延べ患者数の増により、予算額に比して決算額が増加しております。
- (注4) 附属獣医臨床センターの収入増により、予算額に比して決算額が増加しております。
- (注5) 受託研究等の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が増加しております。
- (注6) 補助金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が増加しております。
- (注7) 目的積立金承認に伴い、退職手当の支給、工学部耐震等の工事、システムの更新を実施したことにより、予算に比して決算額が増加しております。
- (注8) 退職者数が想定より少なく退職手当が減少したこと、また人員定数充足の未達、退職欠員が生じたことにより人件費が減少したため、予算額に比して決算額が減少しております。
- (注9) 医薬品費、診療材料費の増等により、予算額に比して決算額が増加しております。